

第12回

台東区子供歴史・文化検定

解答と解説（中学生用）

解説文の最後に、参考として『台東区歴史・文化テキスト 第三版』の頁数を掲載しています。

令和3年度 台東区教育委員会



問1. 正解 ア

貝塚があることから、^{うえのさくらぎ}上野桜木のある^{うえのだい}上野台は海に近く、人が住んでいたことが分かります。(13頁)

問2. 正解 エ

徳川^{よしのぶ}慶喜は、最後の江戸幕府将軍で第15代です。(29頁)

12代 徳川^{いえよし}家慶

13代 徳川^{いえさだ}家定

14代 徳川^{いえしげ}家茂

問3. 正解 エ

^{うえのこうえん}上野公園にある^{すりばちやまこふん}摺鉢山古墳は^{ぜんぽうこうえんふん}前方後円墳で、^{こふんじだい}古墳時代につくられました。(14頁)

問4. 正解 ア

^{こふん}古墳時代の人々は、地面を^ほ掘り下げ、柱を立てて、ワラやカヤなどで屋根をふいた、^{たてあなじゅうきよ}竪穴住居に住んでいました。イの長屋は^{えど}江戸時代、ウの文化住宅は^{ぶんかじゅうたく}大正時代から建てられ、エのアパートメントハウス(アパート)が最初に建てられたのは明治時代のことです。(14～15頁)

問5. 正解 エ

アメ横は終戦直後の^{こんらん}混乱した時代に生まれた商店街です。アの仲見世とウの^{ひろこうじ}浅草広小路は江戸時代にすでに商店が立ち^{なら}並びにぎわっていました。イの^{ぎんざ}谷中銀座は1945(昭和20)年ころに生まれ、商店街として^{はってん}発展していきました。(42頁)

問6. 正解 イ

江戸時代の初めの^{そうけん}寛永寺創建の時に、^{てんかいそうじょう}天海僧正によりつくられました(21・97頁)

問7. 正解 ア

人々は陸路^{りくろ}を歩き、重い荷物などは船で運んでいました。現在でも重いものは船で運搬^{うんぱん}されることが多く、大きな工場などが海岸近くに建設^{けんせつ}されることが多いのはそのためでもあります。(17頁)

問8. 正解 イ

国民学校初等科^{こくみんがっこうしょうか}の3年生から6年生の児童らは、学童疎開^{がくどうそかい}の対象になりました。下谷区^{したやく}の学校は福島県^{ふくしまけん}、浅草区^{あさくさく}の学校は宮城県^{みやぎけん}へ疎開しました。会津美里町^{あいづみさとまち}は当時の疎開先^{そかいさき}の縁^{えん}で友好都市^{ゆうこうとし}になりました。(41頁)

問9. 正解 イ

御三卿には、他に清水家と田安家があります。(30頁)

問10. 正解 エ

上野公園は江戸時代より400年近く花の名所として続き、今でも多くの人を訪れます。花を愛する心は人に対する思いやりを育み、うるおいのある町づくりにつながります。(71頁)

問11. 正解 ウ

江戸時代は服装に厳しい規則^{きびきそく}が設けられていて、行事^{ぎょうじ}や役職^{やくしょく}により着るものが決められていましたが、一般的な武士^{せいそう}の正装^{こそで}は小袖^{せうそで}の上に袴^{かみしも}でした。(46頁)

問12. 正解 エ

靴は編み上げのブーツでした。

ハイカラの由来は英語の丈の高い襟^{えり}「ハイカラー」です。西洋風で目新しくしゃれている事を「ハイカラ」と呼び、西洋風のひさし髪をハイカラ髪といい、その髪型をしている人をハイカラさんと呼びました。(51頁)

問13. 正解 ア

江戸の住民（長屋の借家人を除く）は石高や家の幅（間口）によって決められた水道料金を負担しました。亀有上水・青山上水・三田上水・千川上水は1722（享保7）年に廃止されました。家庭からの排水や雨水などは下水道に流されました。（49～50頁）

問14. 正解 ウ

瓦版は、江戸時代から明治時代にかけて数多く摺られた、現在の新聞や雑誌などにあたる大衆向けの印刷物でした。（67～68頁）

問15. 正解 ア

富士山のほか、1792（寛政4）年に噴火した雲仙普賢岳や、現在も噴火を繰り返している浅間山や阿蘇山、桜島なども大きな被害を出しています。また、富士山の噴火では、江戸の町に大量の火山灰が降ったという記録があり、いかに大きな噴火だったかがわかります。（65～66頁）

問16. 正解 ア

区内には、寛永寺と浅草寺に「時の鐘」があります。現在でも毎日、寛永寺は朝夕6時と正午、浅草寺は朝6時に鳴らされています。（67頁）

問17. 正解 ア

簪の需要は減りましたが、江戸つまみ簪の技法は服につけるブローチなど色々な作品に応用されています。区内では一般の人に作り方を教えているところもあります。（79頁）

問18. 正解 エ

徳川家康は、江戸と各地を結ぶ日本橋を起点として5つの街道^{かいどう}の整備を行いました。現在この起点という意味の「日本国道路元標^{にほんこくどうろげんびょう}」が日本橋の中心部に設置されています。この文字を書いたのは第61～63代の総理大臣^{さしとうえいさく}佐藤栄作です。

なお、日本橋の橋の欄干^{らんかん}と高速道路の壁面^{へきめん}にあるプレートの「日本橋」の文字は、徳川慶喜が書いたものです。(87～88頁)

問19. 正解 ア

イは同時に運行^{うんこう}されている昭和30年の写真がテキストP85に掲載^{けいさい}されています。ウは浅草橋^{あさくさばし}が誤りで、浅草橋が架かるのは神田川^{かんだがわ}です。エは人がかつぐ、蓮台^{れんたい}が誤りで、大きな川を渡る時には主に渡し舟^{わたしぶね}を利用していました。(95～97頁)

問20. 正解 エ

六区は火事^{ろっく}、火災^{かじ}、震災^{しんさい}、戦災^{せんさい}を受けた後でも、その姿を変えながら賑わい^{にぎわい}を保ってきました。(108～109頁)

問21. 正解 ウ

門前町^{もんぜんまち}が成立することによって、その周辺^{しゅうへん}も発展^{はってん}し、市街地化^{しがいちか}が一層進むという効果^{こうか}もありました。(105頁)

問22. 正解 ア

上野^{うえの}は高台^{たかだい}が連なっていることから、不忍池^{しのばずのいけ}はありましたが大規模^{だいきぼ}な田圃^{たんぼ}はありませんでした。(101頁)

問23. 正解 ウ

飲食店向けの食器、家具、道具などを扱う「かつぱ橋道具街」の名は全国に知られています。アは御徒町^{おかちまち}、イは花川戸、エは浅草橋、蔵前^{くらまえ}が中心になっています。(113～114頁)

問24. 正解 ア

節分せつぶんの行事ぎょうじには、お寺や神社などにより色々な方法があります。「鬼は外、福は内」というかけ声が一般的ですが、「福は内、福は内」というお寺や、「鬼は外、鬼は外」という神社もあります。(117頁)

問25. 正解 イ

東京100年を記念して、浅草寺の「慶安縁起けいあんえんぎ絵巻えまき」のなかの祭礼さいれい行列をもとに、浅草観光連盟によって創作されました。(119頁)

問26. 正解 ウ

「へちまくよう供養」という行事で、この日は「へちまかじ加持」を受ける参拝者で賑わいます。こうした行事に用いられるのは主に中が空洞くうどうになる「瓜」や「きゅうり」が多いのが特徴とくちょうです。災厄さいやくをそこに封じ込める意味があると考えられています。(123頁)

問27. 正解 ウ

年末としの酉とりの市では「福かを搔かきこむ熊出」として、お多福たふくや千両箱、稲穂えんぎものなどをつけた熊手が縁起物として境内で売られています。(124頁)

問28. 正解 ア

毎年1月8日に行われる行事で、竹をもった子供たちが「とんどとんど」といいながら地面をたたきます。正月飾りかざりを燃もやすこの火にあたると1年を元気に過ごせるともいわれています。(116頁)

問29. 正解 ア

戦争中は軍により自由な発言はつげんが制限せいげんされ、演劇えんげき・落語らくごなども内容を厳しく監督かんとくされました。(134頁)

問30. 正解 ア

小野照崎おのてるさき神社じんじやには、富士山から溶岩を運んでつくった高さ約5mの塚かみがあります。(139頁)

問31. 正解 エ

最近では小惑星探査機「はやぶさ」の無事の帰還なども祈願されたといえます。(134頁)

問32. 正解 エ

1923(大正12)年、関東大震災で焼失しましたが、第2次世界大戦の空襲の際にはまったく損傷がありませんでした。第2次世界大戦より前の1934(昭和9)年に建て替えられていますが、その時に日本画の巨匠横山大観によって描かれた天井絵「龍」が神社を火事から守ったと言われていています。(139~140頁)

問33. 正解 イ

待乳山聖天は、正式には待乳山本龍院といい、大根と巾着(砂金袋)がシンボルとなっています。大根は消化がよく栄養価が高いところから健康増進・一家和合のもと、巾着は金銀財宝で商売繁盛を表しています。(128~129頁)

問34. 正解 イ

東京には5つの目の色をした五色(ごしき)不動があり、五色とは目白・目赤・目黒・目青・目黄の各不動のことです。現在の目白(豊島区)・目黒(目黒区)の地名は、この五色不動にちなんだものです。(135頁)

問35. 正解 エ

黒田清輝は日本に初めて印象派系絵画を紹介し、東京美術学校の西洋画科の教授として多くの洋画家を育てました。(157~161頁)

問36. 正解 ウ

この作品は、浅草鳥越にあった江戸幕府の「天文方」の屋敷を描いたものです。天体の位置を測定する「渾天儀」を据えた場所から役人が富士山を眺めています。(147頁)

問37. 正解 ア

江戸時代中期に『^{はいふうやなぎ だる}誹風柳多留』という本を出して有名になりました。柄井家は代々、^{しんぼりばた}浅草新堀端の地主でした。川柳という号は代々社中^{しやちゆう}で受け継がれ、現在は16世^{びとうせんりゆう}尾藤川柳です。(165頁)

問38. 正解 ウ

コンドルは建築家、ボードウィン^{おおもりにいづか}は医師、モースは大森貝塚の発見者です。(32、157～158頁)

問39. 正解 ア

ロッシュは^{ちゆうにち}駐日フランス公使、パークスは^{こうし}駐日イギリス公使、ゴローニンはロシアの^{ぐんかん}軍艦「ディアナ号」の船長です。(166頁)

問40. 正解 エ

^{たきれんたろう}瀧廉太郎は、明治時代を表する作曲家で春の隅田川^{じょうけい}の情景を歌った「花」も作曲しています。旧東京音楽学校^{きゆうとうきょうおんがくがっこう}奏楽堂に銅像(朝倉文夫作)があります。(163頁)

^{やまだこうさく}山田耕筰は、明治～昭和時代にかけて活躍した東京生まれの^{しきしや}指揮者で、日本初の^{かんげんがくだん}管弦楽団をつくるなどして西洋音楽を広めました。代表作に童謡「赤とんぼ」「まちぼうけ」などがあり、区内の「黒門小学校第一校歌」も耕筰の作品です。(164頁)

^{おかくらてんしん}岡倉天心は、横浜生まれの美術史家で、日本美術の復興運動に加わり、東京美術学校の開設に尽くしました。谷中の^{きゆうきよあと}旧居跡は、区立岡倉天心記念公園(都旧跡)として保存されています。(158頁)

^{あさくらふみお}朝倉文夫は、大分県生まれの近代日本の代表的な^{ちようそか}彫塑家であり、1907(明治40)年に東京美術学校を卒業した後、谷中に住まいとアトリエ(現在の朝倉彫塑館)を建て、1964(昭和39)年に亡くなるまでの57年間を過ごし、多くの学生を指導しました。(162頁)

問4 1. 正解 ア

石浜城は鎌倉時代から室町時代にかけて存在したようです。国立西洋美術館は1959（昭和34）年に建てられたものです。地下鉄は1927（昭和2）年開業です。（188頁）

問4 2. 正解 エ

日本初そしてアジア初の地下鉄は、昭和2年に上野～浅草間で開業しました。（186頁）

問4 3. 正解 ウ

自転車はヨーロッパで発明されました。当時の自転車は非常に高価で、庶民は手に入れることができませんでした。（181頁）

問4 4. 正解 ア

ソメイヨシノは、吉野桜^{よしのざくら}などと呼ばれていましたが、上野の博物館員の藤野寄命^{ふじのきめい}によって1900（明治33）年に正式に名づけられました。（177頁）

問4 5. 正解 イ

博覧会^{はくらんかい}は、産業や文化が発展^{はってん}するのに大きな役割^{やくわり}を果たすことから、近代化政策を進めていた明治政府は、博覧会^{かいさい}を開催することが必要だと考えました。それが内国勧業博覧会で、上野では3回行われました。（178頁）

問4 6. 正解 ア

中村不折^{なかむらふせつ}は約30年間、根岸に住んでいました。不折が書道研究のために集めた資料や美術品を納めた書道博物館は、平成7年に台東区に寄贈^{きぞう}されました。（196頁）

中村不折は、夏目漱石『吾輩は猫である』の挿絵作家としても知られています。

問47. 正解 エ

岩崎邸は、越後高田藩榊原家の屋敷があった土地に、ジョサイア・コンドルの設計により岩崎久弥が建てた邸宅です。(209頁)

問48. 正解 エ

松方コレクションはフランスから返してもらったもので、当初の美術館はフランス美術館という名前でした。(207～208頁)

問49. 正解 エ

朝倉彫塑館は、彫塑家の朝倉文夫がアトリエ兼自宅として使用していた建物を一般に公開しているものです。(195頁)

問50. 正解 ア

江戸千家は、江戸時代後期に表千家から分かれて流派をたてた川上
不白による流派で、不白派ともいいます。(211頁)